

第1回

Lesson 1 「あなたの名前は何かですか」

ねらい

名前の言い方を理解し、かんたんな英語のあいさつができるようにする。クラスメートの名前を確認させる。

所要時間	指導内容	留意点
15分	① (001) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ→サイレントシャドウイング→マンブリング→発音練習の順に行います。※1	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は一斉（1文ずつ→1発言〔セリフ〕ずつ）→グループ（半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え）のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
15分	② (002) と ③ (003) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し（②でエイミーのセリフ、③でサムのセリフを言う）、次に生徒に行かせます（一斉）。何度か繰り返して暗記できたら、先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。※2	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを見ながら行わせ、慣れてきたら、テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは、Sam と Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば、握手もさせてみましょう。
10分	④ (004) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 先生と生徒、隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせましょう。 ・発音練習は一斉（1文ずつ→1発言〔セリフ〕ずつ）→グループ（半分サム役、半分エイミー役→役入れ替え）のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば、ジェスチャーもつけさせましょう。
5分 (まとめ)	<p>㉔ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し生徒に発音させて、意味を確認させます。</p> <p>宿題 (①～④) の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること) を出します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、② (002) と ③ (003) に英文の意味があることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※1 サイレントシャドウイングとは声を出さずに口真似（口を動かすだけで音声の真似）をすることで、マンブリングとは小声で繰り返す「音声の真似をする」ことです。動きが小さいので、真似がしやすくなります。

※2 最初に先生が見本を示す際、英語がよくできて発音もよく、先生役に向けた生徒がいたら、その生徒を指名して行わせてもよいでしょう。

Lesson 2 「アルファベット①」

ねらい

アルファベットの大文字の形と名前を理解させる。

※単語編Book①Lesson 1のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L1 ① (001) の音声聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドーイングかマンプリング) → 一斉発音練習の順に行います。 生徒が発音練習をしている間に宿題の確認(音声聞いた曜日に○がついているか)をします。	・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ※1 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
25分	L2 ①② (005) の音声(アルファベットの名前)を聞かせて発音練習をさせます。 発音練習は一斉で、1字→7字ずつ(ABCDEFGH → IJKLMNOP → OPQRSTU → V, W, XYZ) → 全26字と繰り返しのパターンを変えて複数回行います。 L2 ③ 大文字の書き方を確認させます。 再度発音練習をさせます。余裕があれば、「きらきら星」のメロディーで練習させます。※2 宿題 (③ アルファベットの大文字をノートに書いてくること)を出します。	・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は、だんだんスピードアップさせましょう。 ・7字ずつ発音練習をさせるとき、V, W, XYZはコンマ(,)でも1拍とりましょう。 ・大文字の書き方を説明したら、生徒を後ろ向きにさせて空中に文字を書かせ、正しく書けているか確認しましょう。 ・慣れてきたら、空中に文字を書きながら発音させましょう。
10分	L2 ①② (006) の音声聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L2 ② でフォニックスの素地を養います。アルファベットの名前と音は異なり、単語の発音はアルファベットの音をつなげたものなので、アルファベットの音を覚えることは、知らない単語を読むときのヒントになることを理解させます。	・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉で、1字→5字ずつ(abcde → fghij → klmno → pqrst → uvw → xyz) → 全26字とパターンを変えて複数回行いましょう。だんだんスピードアップさせましょう。 ・② は簡単な説明にとどめましょう。
5分 (まとめ)	㉔ (クイズ)に取り組みせ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、①のアルファベットの文字の下に発音がかかれていることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・㉔ (クイズ)に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※1 ほめ方

Excellent![エクセレントゥ] → Great![グレイトゥ] → Very good![ヴェリ グッドゥ] → Good![グッドゥ] の順にランク分けをし、Good!でも大げさにほめましょう。

※2 「きらきら星」のメロディーで発音練習

【簡単な歌い方の例】(日本人向けに歌いやすくアレンジされています)

ABCDEFGH, IJKLMNOP,

OPQRSTU, V, W, XYZ,

ABCDEFGH, I can sing my ABC!

1字1拍, コンマ(,)や感嘆符(!)や疑問符(?)でも1拍とります。以下同様です。

V, W, XYZはV, W and XYZでもOK。and[アンドゥ]は1拍で歌います。

下線部は[アイ キャン スィング マイ A B C]と7拍で歌います。

日本語で「もう歌えるよ, ABC」でもOK。

【難しい歌い方の例】(下線部で韻を踏んでいます。英語のリズムが実感できます)

ABCDEFGH, HIJKLMNOP,

QRS and TUV, W, X, Y and Z,

Now I know my ABC!

Won't you come and sing with me?

LM[エレエム]とNO[エンノウ]を各1拍で歌います。

and[アンドゥ]は1拍で歌います。

[ナウ アイ ノウ マイ A B C]と発音します。I can sing my ABC!でもOK。

[ウォン チュー カム アンドゥ スィング ウィズ ミー]と発音します。

日本語で「もうわかったよ, ABC」「今度はいっしょに歌おうね」でもOK。

Lesson 3 「アルファベット②」

ねらい

アルファベットの小文字の形と発音を理解させる。

※単語編Book①Lesson 2のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
5分 (復習)	L2 ①④ (005) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ(またはサイレントシャドローイングかマンブリング)→一斉発音練習の順に行います。 生徒が発音練習をしている間に宿題の確認(③アルファベットの大文字を書いたか音声聞いた曜日に○がついているか)をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
25分	L3 ①④ (007) の音声(アルファベットの名前)を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L3 ③小文字の書き方を確認させます。 再度発音練習をさせます。 宿題 (③アルファベットの小文字をノートに書いてくること)を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉で、1字→7字ずつ→全26字とパターンを変えて複数回行いましょう。だんだんスピードを上げましょう。 ・小文字の書き方を説明したら、生徒を後ろ向きにさせて空中に文字を書かせて、正しく書けているか確認しましょう。 ・慣れてきたら、空中に文字を書きながら発音させましょう。 ・余裕があれば、生徒にaから1文字ずつ言わせて、(苦手な生徒に配慮しつつ)zまでいけるか挑戦させてみましょう。正しく言えなかった生徒は、aと言って最初から始めます。
10分	L3 ①④ (008) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 L3 ②でフォニックスの素地を養います。サイレントeがあることを理解させます。※ 余裕があれば 、単語の意味を説明します。 1「名前」、2「5(の)」、3「かわいい」、4「鼻」	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・余裕があれば、巻頭(p.4)「〈単語編〉の使い方」③「アルファベットの読み方」で有声音と無声音の説明をし、のどに手を当てさせて確認させてもよいでしょう。 ・発音練習は一斉で、1字→5字ずつ→全26字とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・②は簡単な説明にとどめましょう。
5分 (まとめ)	㉞(クイズ)に取り組みせ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が発音し、次に生徒が発音させます。 余裕があれば 、単語の意味を説明します。 1「テープ」、2「自転車」、3「チューブ」、4「家」 宿題 (①の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること)を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、②の1～4に対応していることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・㉞(クイズ)に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

※サイレントe(イー)

末尾が〈子音字+母音字+子音字+e〉という構成の単語で、母音字がアルファベットの名前の発音の場合、末尾のeは発音されないという決まりがあります。nameは、〈n(子音字)+a(アルファベットの名前[エイ]の発音の母音字)+m(子音字)+e〉という構成なので、末尾のeが発音されません。

Lesson 4 「名詞①」

ねらい

人を表す名詞のつづりと発音、単語の書き方を理解させる。
英語は、2文字で1つの音を表すことがあることを理解させる。

※単語編Book①Lesson 3のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
10分 (復習)	L3 ①④ (007) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L3 ①④ (008) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③ アルファベットの小さい文字を書いてきたかと音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L4 ① (009) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 宿題 (③の単語を書いてくること) を出します。 単語の書き方について、文字と文字の間は空けず、語と語の間は少し空けることを説明します。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させ、次にテキストを見ながらつづりと発音を確認させましょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人 (順番) とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・余裕があれば、先生が英語を発音して生徒に日本語の意味を答えさせたり、逆に先生が日本語を言って生徒に英語を発音させたりしてもよいでしょう。 (例 先生「boy」 生徒「男の子」) ・余裕があれば、ピクチャーカードを使って先生の英語の正誤判断をさせ、間違いを直させましょう。(例 先生「看護師のカードを示して」 Singer?」 生徒「No. Nurse.」)
20分	L4 ② (010) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) → 発音練習の順に行います。 テキストを開かせて、発音練習をさせます。 L4 ②でフォニックスの素地を養います。英語の発音は1字1音とは限らないことを理解させます。 子音の発音は、息が出ていることが重要なので、口の前で手を開かせ、息が出ているか確認させます。 たとえば、whは風車を回すイメージで息を出すようにさせると理解しやすいかもしれません。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次にテキストを見ながら発音を確認させましょう。 ・余裕があれば、巻頭 (p.4) 「〈単語編〉の使い方」③「アルファベットの読み方」で有声音と無声音の説明をし、のどに手を当てさせて確認させてもよいでしょう。 ・発音練習は一斉→グループ→個人 (順番) とパターンを変えて複数回行いましょう。 ・説明は短時間で済ませ、音声を聞かせたり発音させたりする時間をたくさんとるようにしましょう。
5分 (まとめ)	㉞ (クイズ) に取り組ませ、答え合わせをします。 答え合わせのときは、最初に先生が選択肢を発音し、次に生徒に発音させます。 宿題 (①と②の音声を聞いて、聞いた曜日に○をつけてくること) を出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は、②にヒントがあることを教えて、正解を見つけさせましょう。 ・㉞ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。

Lesson 5 「元気ですか」

ねらい

英語のあいさつができるようにする。
I'm ...の表現を理解させる。

※会話編Book①Lesson 3のピクチャーカードが使えます。

所要時間	指導内容	留意点
10分 (復習)	L4 ① (009) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 L4 ② (010) の音声を聞かせて発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →一斉発音練習の順に行います。 宿題の確認 (③の単語を書いたか音声を聞いた曜日に○がついているか) をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを見ないで音声に集中させましょう。 ・音声を聞きながら、声に出さずに口真似だけさせたり、小声で繰り返させたりしましょう。 ・発音練習は、一斉で行い、だいたいできていればよしとし、じょうずに発音できた生徒をほめてあげましょう。 ・宿題が見えるように机に該当ページを広げさせ、発音練習をさせている間に机間巡視で宿題の確認をしましょう。
10分	L5 ① (011) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 聞くだけ (またはサイレントシャドーイングかマンブリング) →発音練習の順に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・発音練習は一斉 (1文ずつ→1発言 [セリフ] ずつ) →グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。
10分	L5 ② (012) と ③ (013) でロールプレイング練習をさせます。 最初に先生が見本を示し (②でサムのセリフ, ③でエイミーのセリフを言う), 次に生徒に行かせます (一斉)。何度か繰り返して暗記できたら, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを見ながら行わせ, 慣れてきたら, テキストを閉じて暗唱させましょう。 ・ペアワークでは, Sam と Amy のところを相手の名前に変えさせましょう。 ・余裕があれば, ペアワークを発表させましょう。
10分	L5 ④ (014) の音声を聞かせます。 1～3回聞いて音声に慣れたら発音練習をさせます。 ①と②について, 発音練習をさせます。その後, 先生と生徒, 隣同士や前後の生徒等のペアワークをさせます。	<ul style="list-style-type: none"> ・最初はテキストを閉じて音声に集中させましょう。 ・次に音声を聞きながらテキストでつづりを確認させましょう。 ・①と②の発音練習は一斉 (1文→対話) →グループ (半分サム役, 半分エイミー役→役入れ替え) のようにパターンを変えて何回も行いましょう。 ・余裕があれば, ペアワークを発表させましょう。
5分	<p>㉔ (クイズ) に取り組ませ, 答え合わせをします。 答え合わせのときは, 最初に先生が選択肢を発音し, 次に生徒に発音させて, 意味を確認させます。</p> <p>・How do you do? 「はじめまして。」は初出なので, 答え合わせのときに, 改まった場面で使われる丁寧な表現であることを説明します。</p> <p>宿題 ①～④の音声を聞いて, 聞いた曜日に○をつけること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が鈍い場合や時間が足りない場合は, L1 ③ (p.6) に Nice to meet you. が, L5 ③ (p.14) に I'm fine, thank you. And you. が, ④ (p.15) に good があることを教えて, 正解を見つけさせましょう。 ・㉔ (クイズ) に正解した生徒には巻末の「クイズ得点チェック表」の色塗りをさせましょう。